

しましま+
プラス

中部

避難所運営ゲームで学ぶ

沖縄市東桃原自治会 万が一に備え訓練

防災を考える

【沖縄】市東桃原自治会の自主防災会は13日、同公民館で防災訓練を実施した。参加



適切な避難所運営について話し合う参加者＝沖縄市・東桃原公民館

した地域住民らは「避難所運営ゲーム」などをして、万が一に備えた。同ゲームは静岡県で開発されたもの。避難所に詰めかけた避難者の誘導方法などについて、適切に対応することを目的としている。

ゲームは学校が避難所になったことを想定。参加者は机に置かれた体育館や教室に見立てた図面に、避難者の年齢や家族構成、持病などが書かれたカードを並べた。

各グループでは簡易トイレの設置場所や避難所の通路確保などを考えながら、「発熱している人は保健室に」「支給毛布は受付に集めよう」「盲導犬は室内でよいのか」と話し合い、円滑な避難所運営ができるよう工夫した。

ゲームの他にも、心停止状態の人に電気ショックを与え

て救命する自動体外式除細動器(AED)の使い方も学習。終了後には、炊き出し訓練で調理したカレーライスを皆で食べた。自主防災会の石原一

昭会長(72)は「もし災害が起きると皆が避難所に駆け込み、パニックになるはず。訓練を重ねることで素早く適切に対応できれば」と期待した。